

豊かな心でみがき合い、自ら考え行動する子どもの育成

学校だより

さくらっ子

四日市市立桜小学校
令和元年 12月3日
第17号

桜小学校



今年もまた「お布団から出るのが辛いよ」と嘆く声が聞こえてきそうな季節がやってきました。12月はまとめの月。この1年を振り返り、新たな目標を立てたいものです。

さて、11月27日（水）に行われた持久走記録会では、さくらっ子が寒さを吹き飛ばすようながんばりを見せてくれました。保護者、地域の皆様には、最後まで大きなご声援をいただき、また、安全・安心のための見守りにご協力をいただき、心より感謝いたします。



しっかり準備体操！

力いっぱい走った！ 持久走記録会



緊張のスタート前！



さあ がんばるぞ!! 初記録会の1年生も元気にスタート！



校庭を周回！いい調子



「がんばれ!!」大きな声援を力に変えて、走りも軽やか！



苦しい！ここががんばりどころ！
～PTA、地域の皆様に見守られて～



やったあ！学校に戻った！
コーナーを曲がったら、ゴールはもうすぐ！



「もう少し！」一段と大きな声援が力をくれた



ゴールだ！力を出し切ったぞ！タイムは？

みんな
がんばったね！



桜中の先生に教えていただきました！



11月19日(火)の1～4限目に、5、6年生の各学級で桜中学校の吉川先生に英語の授業（乗り入れ授業）をしていただきました。

左の写真は、1限目の5年2組での様子です。最初に、吉川先生が簡単な英語で、「バスケットボール部のコーチをしています」「料理が好きです」などと、ユーモアを交えて自己紹介をしました。子どもたちは、聞き取ったことを班で話し合って発表しました。

吉川先生によると、あえて知らない単語も入れながら英会話を聞かせて、大まかな内容を掴む練習をすることが有効だとのこと。

高学年の子どもたちにとって、中学校の授業の雰囲気や先生のお人柄に触れ、中学校への期待が膨らんだのではないのでしょうか。

中学校の先生が小学校の授業に参加する「乗り入れ授業」は、市内の全中学校区で進めている「学びの一体化」事業の一環です。

見事なハーモニー！

11月14日(木)、四日市文化会館第1ホールで行なわれた三泗小学校音楽会に、6年生が出場しました。発表曲は「ほらね、」です。

他校と比べると少ない人数ではありましたが、歌声の迫力と美しいハーモニーはどこにも負けていませんでした。本当によくがんばりました。



ほらね、

作詞 伊東恵司

川は風と語り合っているよ
鳥は花と触れ合っているよ
日差しは木の葉とじゃれあっているよ
雨は蛙と頷き合っているよ

ほらね

僕らは一人じゃない

きつね

誰も一人じゃない

それでも悲しい日があったら

涙が止まらない日があったら

ゆっくりそっと歌を歌おう

思い出詰まったあの歌を

うたはあなたの大切なともだち

いつもそばにいる大切なともだちだから

『ほらね、』は、東日本大震災のあと、歌で日本をつなげよう、歌で被災地を応援しようとして書き下ろされた作品です。

僕らは一人じゃない♪

6年生の歌声は、仲間とともにやり切った自分たちへのエールでもあるようでした。

すばらしかった！



～防寒グッズに関する「さくらっ子のきまり」～

ご理解・ご協力を

○ ネックウォーマー、マフラー、ダウンジャケット等のコート

登下校での使用はできますが、教室など校舎内では使用しません。ただし、お子さんの体調がご心配な場合など、必要な場合は、連絡帳にて担任に申し出てください。

○ 使い捨てカイロ

学校に持ってくることは可能ですが、「学校にいる間はポケットから出さない」ように指導します。持たせていただく場合は、記名していただき、使用済みの使い捨てカイロはご家庭で処分していただくようお願いいたします。

○ リップクリーム、ハンドクリーム

必要な場合は、連絡帳にて担任に申し出てください。ただし、色・香りのないもので、子ども同士での貸し借りはしてはいけません。